

学習展開例


対象校種：小学校 授業時間 90分
対象教科：理科



海陽町立海部小学校
教諭 溝内正剛

新着

奇跡の魚 わずかな情報から追求する

児童生徒の思考の流れと活動の流れ	教師の支援と評価
<p>絶滅種について、知っていることを発表する</p>	
<p>クニマスはどのようにして生きのびることができたのだろうか？</p>	<p>○かつて日本に生息していたが、今は絶滅した生物について尋ね、興味関心がもてるようにする。</p> <p>○絶滅したと思われた生物の中に、クニマスという魚がいることを知らせる。</p> <p>○なぜ絶滅したはずのクニマスが生きていたのか、理学的な理由から予想を立てる。</p>
<p>環境が合っていたから 人に見つからなかったから 天敵がいなかったから</p>	<p>○番組はまるごと視聴する。</p>
<p>番組まるごと視聴</p> 	
<p>なぜクニマスは生き延びていたのか？</p>	<p>○もっと知りたい、調べたいという気持ちもてるような問いかけで問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和の初めに姿を消した魚であること ・70年ぶりに再発見されたこと ・本来の生息地から遠く離れた場所で発見されたこと
<p>西湖の自然環境についてまとめたい 調査の進め方についてまとめたい</p>	<p>○次の観点から視聴内容をまとめるよう話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クニマスの生態の特徴や発見へのヒントについて ・生息場所である西湖の環境について ・体の特徴や産卵時期、産卵場所について ・クニマスと、近縁種のヒメマスとの違いについて
<p>項目ごとにグループ別にまとめ、発表する</p>	<p>【関心・意欲・態度】 生物の生態や自然環境に興味をもち、進んで考え、まとめることができたか。</p>
<p>クニマスが生き延びられた理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クニマスは適水温が低く、深い水深を好むので、天敵から身を守ることができた ・産卵に必要な、砂礫や湧き水があった ・ヒメマスと形態が酷似していて、発見されずにすんだ 	
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性や、自然環境の大切さについて調べていこう ・日本の他の絶滅種や、絶滅危惧種についても調べていこう 	<p>○適当に調査を行うのではなく、わずかな情報から予想を立てること、条件を絞り込んで観察することの大切さを話す。</p> <p>○発表をまとめることにより、今後の学習に意欲をもたせる。</p>

環境